

J A M 政策NEWS

2003年4月15日 第2003-26号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : syakai@jam-union.or.jp

私たちの声で国の予算をつくる！！

雇用・失業対策と社会保障の強化を訴えよう

連合の笹森会長が委員を務めている、財務省の財政制度審議会では、今後の国の財政運営を議論していくため、「財政についての意識調査アンケート～国の予算、査定して下さい～」を行うことになりました。現在、財務省のホームページ上でアンケート調査が実施されています。

誘導的な質問には要注意！

全13問の比較的簡単なアンケートですが、政府の財政再建優先の予算編成方針を正当化するための誘導的な設問も見られます。JAMとしては、政府に対して財政再建最優先から、景気回復、雇用重視の政策に転換するよう求めてきました。JAM組織内でも、雇用環境は依然として改善のきざしはなく、中小を中心に、春季生活闘争においても厳しい交渉が続いています。

景気回復と雇用対策を訴えよう

JAMは、2003年春季生活闘争の政策・制度要求として、まずは景気回復と経済の建て直しを、モノづくり企業をこれ以上潰させない、過度の単価切り下げ、値引きにNO、労働債権を最優先に引き上げる、失業給付の拡充、公正なワークルールの確立、の6点を掲げて取り組んできました。このアンケートを活用し

て、私たちの声を国の予算に反映させていきましょう。

国の予算づくりに参加しよう

このアンケートに、雇用を重視する声が多数寄せられれば、財政制度審議会としてもこれを無視できなくなります。一人でも多くの組合員が、このアンケートに回答することで、私たちの代表として審議会に参加している笹森会長をバックアップし、国の政策を変えていくことも不可能ではありません。あなたも、国の予算づくりに参加しませんか。

【アンケート送付先】

ホームページアドレス

<http://www.mof.go.jp/singikai/zaiseseid/o/goiken15/top15.htm>

ファクシミリ

財務省主計局調査課 FAX03-5251-2111
ファクシミリ用回答用紙は添付ファイル参照

【特に重要な設問】

Q1：あなたが財務大臣になったつもりで予算を増やすべきだと思う分野は？

年金、医療、雇用・失業対策、中小企業対策などをチェックしましょう。

Q6：国の優先課題の選択

まずは景気回復を求めましょう。

Q13：自由記入欄

雇用や生活不安、職場の実態について率直に訴え、政府に政策転換を迫りましょう。